

事業所用放課後等デイサービス評価表
(職員アンケート)

平成 29 年 1 月

NPO 法人新発田市手をつなぐ育成会

ハローハロー

事業所用 放課後等デイサービス評価表(職員アンケート)

※「はい」～「分からない」の該当する欄に○をつけてください。

職員数 13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見
① 環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	8	3		<ul style="list-style-type: none"> ・人数や学年によっては狭いと感じることがある。 ・休養やクールダウンをするスペースがあると良い。 ・落ち着いて課題に取り組める静かなスペースも欲しい。 ・不足している時は金蘭荘のご好意により、ロビーの一部をお借りしている。
	2	職員の配置数は適切か	8	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態や職員の研修等により人手が足りないと思うことがある。 ・職員の休みが数人重なると余裕が無くなる。 ・個別対応が必要な利用者が複数になると、人手が足りないと思う。 ・時間帯によっては職員数が多すぎることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前の車寄せに屋根があると良い。 ・玄関の段差が危険。 ・借りている施設だが、その中でも工夫や配慮がされている。
② 業務改善	4	業務改善を進めるために目標を設定し、反省会等の振り返りに広く職員が参画しているか	10	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・業務前に打ち合わせを行い反省点を周知している。 ・目標設定を明確にする。 ・反省会等は行っているが、改善につなげるのは不十分。 ・職員個々の目標を半期ごとに設定、振り返りを行っているが、内容に対して十分な話し合い等は行えていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	5		2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対してアンケート調査を行い、回答は配布したが、十分理解してもらえたとはいえない。 ・業務改善策を職員に認知し定着させる部分が不足している。 ・実施はしたが、業務改善につなげるまでに至っていない。
	6	この評価の結果を事業所の会報や、ホームページ等で公開しているか	4		2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・お便りは定期的に関係機関、保護者に送っている。 ・ホームページには載せていない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による、外部評価をよく知らない。 ・外部評価は受けていない。今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10		2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・復命書を回覧している。 ・業務に支障のない範囲で出来るだけ多くの研修に参加している。 ・研修に行く職員に片よりがある。 ・年間計画で外部・内部研修を実施している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見
③ 適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の利用者に適した支援計画を作成している。 ・アセスメントも定期的にやっているが、客観的な視点で捉えにくい。 ・アセスメントを行うのは月初めが適切と思う。 ・個別支援計画の作成については、更に充実させる必要がある。
	10	子どもの適応行動(集団に溶け込める能力を行動で分析する)の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援については担当していないので分からない。 ・取り入れているが、定着はしていない。 ・教材も分かりやすい物が必要になる。 ・指導員全員が使用できるようにする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容についての研修がしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	5		3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の打ち合わせで活動が重複しないように配慮している。 ・マンネリ化しやすい。 ・活用できる雑誌の購入をする。 ・新しいことを取り込もうとしているが、固定化していることが多い。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	8	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇の支援は配慮されている。 ・全体的には活動内容が充実してきた。 ・個別に応じた課題が支援できると良い。 ・細やかな支援が出来ているかわからない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	7	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動として組み入れることが出来ないときもある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担は明確になっている。 ・長期休暇時は打ち合わせの時間を取りにくい。 ・支援前の打ち合わせでその日の活動内容が把握できている。
	16	支援終了時には職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1	3	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録はどのような支援に対してどのような行動、反応があったかを記載する必要がある。 ・ミーティングを活用している。 ・リーダーに伝えているが、全員に周知できていないことがある。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表、支援経過表と日々の記録はとっているが、それを元に検証し、改善につなげられていない。 ・特別な支援が必要なご利用者に対して記録を共有し共通の支援がとれるようにしたい。 	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	分からない	ご意見
③	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見通しの必要性を判断しているか	9	1	2	1	・短期目標終了時は必ず、モニタリングを行っている。
	19	ガイドライン(別紙)の総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5		3	5	・ガイドラインは知らなかった。 ・ガイドラインを意識して支援にあたっていなかった。
④ 関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		6	・児童発達支援管理責任者が主だが、その他の人も必要に応じて参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12		1		・各学校の年間予定表はホームページなどで確認している。 ・連絡調整は基本的に保護者からの情報だが、必要に応じて先生に相談している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8			5	・個別の対応マニュアルが整備されている。 ・主治医等と連絡体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		7	・利用予定者については相談員と事前訪問を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3			10	・相談員や事業所から要請があれば、ケース会議に参加したり、情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センター(ひまわり学園)、子ども発達相談室や発達障害者支援センター(ライズ=はまぐみ内)等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		2	7	・ライズについては知らない。 ・研修に参加している。 ・ひまわり学園の保護者会に参加させてもらった。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	1		11	1	・行事として、長期休暇時の交流はあったが、通常時の交流は考えていなかった。 ・児童クラブの見学は検討したい。
27	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	7		3	3	・全体会・各部会に積極的に参加している。 ・内容について、全職員には周知していなかった。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見
④	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・家族の送迎時に職員から申し送り等されている。 ・必要時に管理者から個別に話をすることはある。 ・モニタリング時等で保護者と話し合いの機会を持ち、必要事項は職員に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修会や講演会等の情報を提供しているか	8	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・適切と思われる内容があればパンフレットの配布や申し込みの取り扱いをしている。 ・お便りに掲載するのよ。 ・親の会の運営で、ピアカウンセリングを実施している。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしている。 ・変更や理解が不足していると思われる内容については別途紙面にてお知らせをしている。
⑤ 保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	3		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の変化など見られるときは、保護者に投げかけている。 ・短い時間でもアドバイスできるようにしている。 ・モニタリング時にもっと保護者と話をする機会を作る。
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1		3	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回保護者会を開催しているが、参加者が少ない。どのようにしていけば多くの参加をしてもらえるのか、アンケート等検討が必要。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対しては小さいことでも必ず上司に上げて対応していくことが信頼関係を築くことに繋がる。 ・苦情箱の設置、内容の公表を検討する。 ・苦情を上げ易い環境をつくる必要がある。 ・体制は理解されているが、周知理解は不十分。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11			2	<ul style="list-style-type: none"> ・お便りを毎月発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	12	1			<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに記載する場合や机の上なども日頃から個人名や個人情報が見えないようにしている。 ・退社時は棚に施錠し、鍵の保管も特定している。 ・支援中の会話も気づいたことは注意し合っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達がしやすいように配慮しているか	9	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、一人ひとりに合った方法が取られている。 ・言葉以外のABAなどの手法を取り入れている。 ・保護者にも分かり易いように専門用語等は使わないように工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・金蘭荘や隣にある東デイサービスのご利用者で交流している。 ・地域住民には行っていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見
⑤	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	2			<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応マニュアルがあることはよい。 ・保護者に対してマニュアルがあることは知らせているが、内容までは周知していない。 ・職員も定期的にマニュアルの確認をするだけでなく実践も必要。
⑥ 非常時の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13				<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を立てている。 ・毎回テーマを変えて実施しており、実際の災害時に対応できるようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	10	3			<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加している。 ・内部研修も身近な事例を用いた研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	3		4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画には記載していない。 ・通常の支援の際には拘束の必要はほぼ無いが、緊急避難時は車いすの補助具として必要になる場合がある。至急に検討したい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は食物アレルギーのご利用者はいない。 ・契約時にアレルギー等の聞き取りをしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	1			<ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに集計し、回覧している。 ・事故報告書はその都度、カンファレンスを行っている。 ・繰り返し同じ事故等が発生してしまう。 ・自分が気になったことがあれ大した事でないという件も書面で上げていくようにしたい。
		回答数 559 (13人×43項目)	297	81	64	117	
		%	53	14	11	22	

実施日 平成 29年 1月